

スマイル



特集

新任医師紹介

外来がん治療認定薬剤師の活動について / 4階西病棟について / 認定看護師通信 vol.46

新任
医師
紹介



眼科 医長
吉川 宗光

(よしかわ むねみつ)

本年度より枚方公済病院で勤務させていただくこととなりました、平成 21 年卒 眼科の吉川宗光です。

公立豊岡病院から赴任になりました。豊岡での田舎暮らしが長かったため、都会の環境に戸惑いもありますが、早く馴染んで皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

専門は緑内障と加齢黄斑変性症です。いずれも早期発見・早期治療が大事な疾患になりますので、気軽にご相談いただければと思います。必要な方には、関西医大・京大へ紹介させていただきます。前任の鶴木先生が対応されていた眼瞼手術・硝子体手術は減ってしまうかもしれませんが、可能な限り患者さんのご希望に添った対応が出来るようにいたします。

趣味は二人の子供と遊びに出かけることです。このような社会情勢が早く好転することを祈ってやみません。

どうぞよろしく願いいたします。



麻酔科 医長
井上 麻意子

(いのうえ まいこ)

はじめまして。今年度より麻酔科に赴任して参りました、井上麻意子と申します。

平成 12 年に京都大学を卒業し、大学病院で 1 年間研修した後、市立岸和田市民病院で 20 年間勤務いたしました。兵庫県川西市出身ですが、京都、岸和田で過ごしたのち、4 年前に枚方市に引っ越しして参りました。

趣味は、最近全くやっていないテニスと、一昨年に 35 年ぶりに始めた書道です。

早く地域に溶け込み、皆様のお役に立てるようになりたいと思っております。

どうぞよろしく願い申し上げます。



外科
尾地 伸悟

(おち しんご)

はじめまして、消化器外科の尾地と申します。天理よろづ相談所病院より赴任になりました。兵庫県の姫路市出身で、

大阪で生活するのは初めてになります。大学時代は、部活で準硬式野球をしていましたが、ラグビーワールドカップ 2019 をみて、ラグビーファンになりました。細かいルールはわかりませんが、その後トップリーグの試合も何回か観に行きました。医療では腹腔鏡手術やがん治療に興味があります。至らぬ点多いかと思いますが、ご指導の程よろしく願い致します。



外科
森 彩
(もり あや)

兵庫県立尼崎総合医療センターより赴任してきました卒後6年
目外科の森と申します。

私は島根大学を卒業し、出身である神戸市に戻り神戸市立西神戸
医療センターで初期研修を2年行いました。その後外科専攻医として西神戸医療セン
ターで2年、神戸市立医療センター中央市民病院で6か月、兵庫県立尼崎総合医療
センターで6か月ローテーションしていました。
趣味といえるほどのものはありませんが、カフェなどで友達とまったり話すのが好
みます。枚方市は住むのは初めてで知り合いもいないのでこれを機につながりができ
ると良いなと思っています。人見知りですが、話しかけていただけると嬉しいです。
これからよろしくお願いたします。



循環器内科
見保 充則
(みほ みつり)

本年度から赴任いたしました平成27年卒の循環器内科の見
保(みほ)と申します。初期研修医時代から6年間大津赤十字
病院で勤務し、今回初めての異動となりました。趣味は食べ飲
み歩きで、日々枚方のグルメを調べています。お勧めのお店等あれば教えて下さい。
一早く溶け込めるよう努めますが、至らぬところも多くあるかと思われ
ます。皆様ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願致します。



皮膚科
八木 久実
(やぎ くみ)

これまで京都、大阪、兵庫の病院で勤務して参りました。
本が好きなので、現在の情勢からなかなか外出できない状
況もあって、最近休日は読書をして過ごすことが増えました。
診療のことやその他、気軽に声をかけて頂けますと嬉しいです。慣れない
ことも多く、また至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほ
どよろしくお願致します。

外来がん治療認定薬剤師の活動について

近年、内服抗がん剤の開発や副作用対策が進み、外来通院や自宅で抗がん剤治療を行うことができるようになりました。入院治療では医療者が副作用の介入をすることが可能ですが、外来通院では患者さん自身で副作用に気付く必要があります。しかしながら、高齢者には判断が難しく迷ってしまうことがあります。当院ではかかりつけ薬局の薬剤師と連携して、副作用対策をサポートできるように環境整備を行っています。

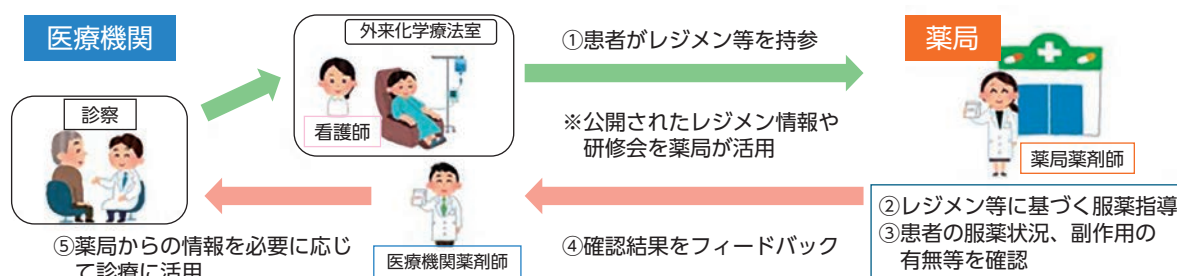


図1 令和2年度診療報酬改定 II-7-1 緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価

外来受診日から次回予約日までの間に薬局薬剤師が電話でサポート(図1-③患者の服薬状況、副作用の有無を確認)しています。抗がん剤治療は特殊な薬剤が多いため、専門知識が必要不可欠です。副作用の評価を的確に行っていただくための知識向上を目的として、地域連携セミナーを開催しています。(図2)

薬局薬剤師から抗がん剤治療の副作用に関連する報告は年に数例でしたが、セミナー開催後10月から2月までの5ヶ月で約35件もの報告があり、地域連携がより一層深まり、微力ではありますが、服薬の安全性向上に寄与できたのではないかと思います。

これからも安全にがん化学療法を施行し、安心して治療できるよう積極的にサポート、情報発信を継続して行っていききたいと思います。

令和2年度
第1回 枚方公済病院地域連携セミナー

日時:令和2年9月5日(土) 15:00~16:10
場所:枚方公済病院 セミナールーム1
大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号

定員:20名(先着順) 参加費:無料

【講演】15:00-16:00

①「抗がん剤の副作用(Grade評価)について」
②「使用頻度が高いレジメン紹介」
～症例を使用した副作用マネジメント～

講師:枚方公済病院 薬剤科 山本 浩之 副主任
(外来がん治療認定薬剤師)

【Closing remarks】16:00-16:10
枚方公済病院 薬剤科 河野 修治 薬局長

図2

外来がん治療認定薬剤師 山本 浩之

4階西病棟についてご案内します

4階西病棟では、循環器内科、総合内科、小児科を担当しており、0歳から100歳を超える高齢者まで幅広い年齢層と、急性期から終末期と病状においても幅広いことが特徴です。

循環器疾患でもっとも多いのは、心不全の患者さんであり、疾患の特徴として入退院を繰り返す方が多い状況です。そのため、できるだけ再入院を防ぐために、レインボー手帳を活用した生活指導を行っています。また、退院後の生活調整を含めたカンファレンスを日々行い、早期退院に向けた取り組みにも力を入れています。高齢患者も多く、地域との連携は特に欠かせない状況ですが、昨年より続くCOVID-19により、在宅支援に関わってくださる方々とのカンファレンスが思うようにできない状況が続きました。自宅での生活が不安なく、少しでも長く過ごせるためにも、退院前のカンファレンスは重要であると感じています。また、面会制限によりご家族に会えない期間が長いと不安の

増強や認知面への影響も大きくなるため、できるだけ早く元の生活へ戻す必要性も強く感じています。現在は、感染対策に協力を頂きながら少しずつカンファレンスも再開している状況です。今後も、状況を見ながら機会を増やしていければと思っています。

COVID-19で変化したこととして、他にも急変時の対応があります。病棟では、急変時に備え訓練を行っています。今年度はCOVID-19により対応も大きく変化しました。まずは、感染拡大を防止することが大前提となりPPEの確実な装着やエアロゾルの暴露予防といった対策が追加されました。通常業務を行いながら急変時対応チームの指導の下、繰り返し練習を行い技術の向上に努めています。COVID-19は未知のことも多く、プロトコルも日々更新されている状況です。今後も、変化に対応しながら技術の向上に取り組みたいと思います。



病棟患者カンファレンス



急変時対応訓練



急変対応：シュミレーション①-2

急変時対応訓練



急変対応：シュミレーション②-2

急変時対応訓練



活動報告

今回は、3西病棟と協同で行っている『ストーマラダー』を紹介します。

我が国の永久的ストーマ推定20万人とされており、ストーマの種類や形状、合併症、ストーマに至った疾患、既往歴によってケア方法は異なってきます。昨今は入院期間の短縮化で、ストーマ保有者は短期間でセルフケア指導を受けて退院することになります。また、高齢化で認知症の患者さんも増えており、セルフケア指導に難渋することもあります。当院のストーマ造設件数は、外科・泌尿器科合わせて年20～25件で、受け持ち看護師として経験できる症例数は決して多くありません。とはいえ、初めてストーマ保有者になる患者さんにとって、セルフケア指導を行う看護師の知識の有無が一生を左右します。経験で教えるのではなく、『ストーマの造設を受ける患者さんとその

ご家族に対し身体的・心理的・社会的側面からケア指導を適切に行うためにストーマケアとストーマリハビリテーションの基礎知識を正しく理解する』ことを目標に3西病棟ストーマチーム10名を対象にラダー研修を行うことになりました。初年度は経験年数に関わらず、全員ラダー1を受講してもらうことにして、岡村主任と年間研修プログラムを組みました。月1回(同内容で2回)45分の9回コース、テストは80点が合格ラインです。

ストーマケアは系統立てて学ぶ機会が少ないため、次年度はラダー1からラダー2と進め、更なるストーマケアの質の向上を目指します。今年度の研修はあと2回を残すのみとなりました。ストーマチームの皆さん、全員合格目指して頑張りましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師 大西 千代

1. ストーマリハビリテーションの基礎知識
2. 消化器ストーマ (解剖生理と疾患)
3. 術前ケア
4. ストーマ用品
5. 術直後ケア
6. セルフケア指導
7. ストーマ合併症
8. ストーマ保有者における社会保障制度
9. 症例検討

ストーマラダー I
第1回 資料

ストーマリハビリテーションの基礎知識



令和2年5月19日/6月22日
皮膚・排泄ケア認定看護師
大西 千代

病棟ごとの勉強会 依頼受付中!

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、研修の依頼を受けています。

既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です!

リクエストお待ちしております!



各分野認定看護師

救急看護: 村上
慢性心不全看護: 原谷
感染管理: 矢田
皮膚排泄ケア: 大西
認知症看護: 藤原





高齢者の減塩指導について

心不全患者において減塩指導は心不全の再発を予防する上でとても重要です。

最近では高齢患者も多く、減塩により食事量が減少しないよう指導に苦勞することもあるのではないのでしょうか。

高齢になると、舌や口腔内にある、味を感じる部分「味蕾」が減少し、新生児と比べると3割から5割ほど味蕾が少なくなり、特に塩味や甘みを感じにくくなると言われています。

原因として、加齢による唾液量の低下や亜鉛不足があります。高齢者の場合には、胃腸機能の低下や複数の服薬による副作用の影響も大きいと言えます。

また、食事を提供するご家族も高齢者であることも



増えており、指導の際には注意することが必要になってきます。

味付けを濃くしなくても、料理をおいしく



感じられるように、料理にうまみ成分をプラスしたり、酢やレモンなどの酸味を入れたりして、塩分や糖分量を変えずに味を変えられます。また、料理に香辛料や香味野菜を取り入れたり、味を感じにくい食材を別の食材に変えたりすることで、味覚が低下してもおいしく食べられ食事量が低下しないよう伝えていくことが必要です。

慢性心不全看護認定看護師 原谷 こずえ

理念と基本方針

理念

医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<http://kkh-hirakoh.org/>